

I 環境科学研究科の活動の概要

環境科学研究科の平成2年度活動

石塚皓造*

1. 研究科の運営

(1) 運営方針

本研究科は、入学定員90名であるにも拘らず1専攻を維持し、広い分野にわたる学際カリキュラムを設定して環境科学全般にわたる問題把握能力の涵養に努めてきた。特に下記の点について留意した。(1)修論指導体制を整備し、専門水準の向上をはかった。(2)昭和62年改訂したカリキュラムを6分野制のもとで徹底実施した。(3)大学院制度の弾力化を受けて、広領域カリキュラムを設置し、また社会人受け入れ体制を整備した。特に行政官派遣制度に環境科学部門を創設する様働きかけた。(4)地球環境問題を取扱うカリキュラムをつくった。(5)環境科学関係博士課程の学際カリキュラムまたは研究科の創設をはかった。

(2) 研究科内各種委員会

研究科教員会議(構成員52名, 表-1)のもとに各種委員会を設け、運営業務の分担を行った。カリキュラム委員会(表-2)は、カリキュラムの実施が円滑に行われる様調整し、特に修論研究の中間発表会のあり方についての検討を行った。また、環境改善、環境政策の両分野のカリキュラム拡充に努力した。昨今の地球環境問題についての社会的関心を受けて、特講において地球環境問題特集を組んだ。

編集・広報委員会(表-3)は、年報編集と共に、和、英文の研究科案内と募集ポスターを作成した。特にポスターは好評であった。

運営委員会(表-4)は、幹事長を設けて運営の基本方針の策定を行った。

社会人教育制度検討委員会(表-5)は、特に国家公務員の派遣制度に環境科学分野を加えることを運動した。結果は成功しなかったが、本研究科の考え方は次年度に大きく取り入れられることとなった。また、有職者を社会人と名称変更し、その為の受け皿を作った。

博士課程設立検討委員会(表-6)の活動により、博士課程内に準備委員会が設立され、地球科学、生物科学、農学、社会工学の4研究科長を含む委員が任命された。修士課程の本研究科との関係が大であると共に環境科学関連の教官が大部分本研究科所属であるので、イニシテアティブを本研究科がとった。

入試委員会(表-7)は、修論研究指導の面を配慮して応募者より志望調書を提出させる様にしたが、この点について更に検討した。また外国人の為の入試についても検討を加えた。

就職委員会(表-8)の活動により、修了生の就職は順調に運んだ。特に環境科学を意識した求人が増加した。

広領域教育制度検討委員会(表-9)は、水環境および都市環境という2つの開設カリキュラムの

*平成2年度研究科長

表-1 研究科教員会議構成員

	氏名	所属学系		氏名	所属学系
教授	石塚皓造	応用生物化学系	助教授	国府田悦男	応用生物化学系
教授	岩城英夫	生物科学系	助教授	佐藤俊	歴史・人類学系
教授	大羽裕	応用生物化学系	助教授	佐藤洋平	社会工学系
教授	梶秀樹	社会工学系	助教授	下條信弘	社会医学系
教授	河村武	地球科学系	助教授	田島學	社会工学系
教授	黒川洸	社会工学系	助教授	田中秀夫	応用生物化学系
教授	小出進	農林工学系	助教授	手塚敬裕	化学系
教授	河野博忠	社会工学系	助教授	東照男	応用生物化学系
教授	古藤田一雄	地球科学系	助教授	日端康雄	社会工学系
教授	高野健三	生物科学系	助教授	前川孝昭	農林工学系
教授	多田敦彦	農林工学系	助教授	前田修	生物科学系
教授	谷村秀彦	社会工学系	助教授	松本栄次	地球科学系
教授	中原忠篤	応用生物化学系	助教授	森下豊昭	応用生物化学系
教授	中村以正	応用生物化学系	助教授	安田八十五	社会工学系
教授	藤井宏一	生物科学系	講師	甲斐憲次	地球科学系
教授	藤伊正	生物科学系	講師	小林守人	地球科学系
助教授	安仁屋政武	地球科学系	講師	齋木崇隆	社会工学系
助教授	天田高白	農林工学系	講師	齋藤史一	生物科学系
助教授	石田東生	社会工学系	講師	佐久間泰一	農林工学系
助教授	石見利勝	社会工学系	講師	関李紀	化学系
助教授	糸賀黎介	農林学系	講師	田瀬則雄	地球化学系
助教授	岩崎駿二	社会工学系	講師	田村亨	社会工学系
助教授	臼井健二	応用生物化学系	講師	中村徹	農林学系
助教授	及川武久	生物科学系	講師	久島繁	応用生物化学系
助教授	北嶋能房	社会工学系	講師	松本宏	応用生物化学系
助教授	小泉允	社会工学系	講師	吉川博也	社会工学系

(議長 石塚皓造)

整備にあたった。

視聴覚教育委員会(表-10)は教室内の教育機器(ビデオ, OHPなど)の整備を行った。ビデオライブラリーについても検討を行った。

以上の各種委員会の他, 6分野の世話人(表-11), 入試実施委員(石塚皓造教授, 梶秀樹教授), 修士課程委員(石塚皓造教授, 河野博忠教授)が任命されている。

2. 教職員の異動

大羽裕教授(応用生物化学系)が平成3年3月31日付にて定年退官した。

3. 入学および修了の状況

平成2年度入学者は103名であり, うち外国人5名, 有職者7名であった。平成2年3月課程修了者は94名であった。

4. 研究科プロジェクト

継続2件、新規4件のプロジェクトを実施した(表-12)。

表-2 カリキュラム委員会

委員長	多田	敦
委員	甲斐	憲次
〃	及川	武久
〃	下條	信弘
〃	安田	八十五
〃	黒川	洸

表-3 編集・広報委員会

委員長	藤井	宏一
委員	小林	守
〃	東	照雄
〃	中原	忠篤
〃	佐藤	俊
〃	糸賀	黎

表-4 運営委員会

委員長	石塚	皓造
委員	田瀬	則雄
〃	前田	修
〃	東	照雄
〃	国府田	悦男
〃	吉川	博也
〃	日端	康雄

表-5 社会人教育制度検討委員会

委員長	河野	博忠
委員	河村	武
〃	高野	健三
〃	森下	豊昭
〃	下條	信弘
〃	天田	高白
〃	小泉	允圀

表-6 博士課程設立検討委員会

委員長	岩城	英夫
委員	河村	武
〃	大羽	裕
〃	中村	以正
〃	河野	博忠
〃	谷村	秀彦

表-7 入試委員会

委員長	梶	秀樹
委員	前田	修
〃	藤井	宏一
〃	多田	敦
〃	石塚	皓造

表-8 就職委員会

委員長	古藤田	一雄
委員	松本	栄次
〃	岩城	英夫
〃	臼井	健二
〃	中村	以正
〃	北島	能房
〃	石田	東生

表-9 広領域教育制度検討委員会

委員長	中村	以正
委員	前田	修
〃	天田	高白
〃	田瀬	則雄
〃	梶	秀樹
〃	黒川	洸
〃	安仁屋	政武
〃	北島	能房
〃	藤井	宏一

表-10 視聴覚教育委員会

委員長	田島	學
委員	安仁屋	政武
〃	中村	徹
〃	前川	孝昭
〃	佐藤	親次
〃	吉川	博也

表-11 分野世話人

自然環境	河村	武
生物環境	岩城	英夫
生産環境	大羽	裕
環境改善	中村	以正
政策分野	河野	博忠
計画分野	梶	秀樹

表-12 平成2年度環境科学研究科プロジェクト研究計画一覧

研 究 課 題	研究組織	配分類	備 考
白山山塊における資源利用と環境保全に関する社会生態学的追跡評価(新規)	糸賀* 佐藤(俊) 安仁屋 天田	60万円	
都市経営からみた筑波研究学園都市開発の事後評価に関する研究(新規)	小泉* 佐藤(洋)	60万円	
霞ヶ浦水質浄化の動学的最適発展策(継続)	河野* 石塚 中村(以) 藤木 国府田 吉川 森島	40万円	元年度60万円
ニオイ刺激表の開発・作製(新規)	佐藤(親)* 下條 梶	60万円	
環境科学における安定同位体の利用に関する研究(継続)	田瀬* 古藤田 前田	40万円	元年度80万円
微量化学物質による環境破壊反応の分子モデル化と教育への効果(新規)	手塚* 関	40万円	

*研究代表者

5. 教官の海外出張・研修

表-13に示す。

(平成2年4月～平成3年3月)

表-13 教官の海外出張・研修旅行

氏名	学系	出張期間	渡航目的	出張先
黒川 洸	社 工	'90. 4. 21～'90. 5. 3	国際住宅都市計画連合理事会出席及びイスタンブール市現地調査	オランダ・トルコ
前川 孝昭	農 工	'90. 5. 26～'90. 6. 3	熱帯産果実の植物防疫における消毒技術に関する現地調査	アメリカ
河野 博忠	社 工	'90. 5. 9～'90. 5. 11	公共投資基準と社会的便益の研究のため	中国
吉川 博也	社 工	'90. 5. 22～'90. 5. 26	国境貿易促進に関する調査	台湾
前川 孝昭	農 工	'90. 6. 5～'90. 6. 16	中日豚糞尿処理シンポジウム出席及び技術指導	台湾
久島 繁	応 生	'90. 6. 17～'90. 7. 15	国際組織培養学会出席及び環境保全に関する研究打ち合わせ	インド・オランダ フランス・タイ
高野 健三	生 物	'90. 6. 15～'90. 6. 25	海洋学に関する講演および共同研究打ち合わせ	中国
北畠 能房	社 工	'90. 6. 18～'90. 6. 26	「人間居住と持続的発展」に関する国際会議に出席	カナダ
岩城 英夫	生 物	'90. 6. 22～'90. 7. 14	都市緑地の景観問題	西ドイツ
岩崎 駿介	社 工	'90. 6. 28～'90. 7. 28	東南アジア諸国における居住問題の調査及び資料収集	タイ・ベトナム カンボジア・ラオス
国府田悦男	応 生	'90. 7. 2～'90. 8. 12	生物化学反応を利用した高分子ゲルの相転移に関する研究	アメリカ カナダ
河野 博忠	社 工	'90. 7. 4～'90. 7. 15	中華民国地域科学学会、太平洋地域科学大会機構夏期研修会	台湾 インドネシア
甲斐 憲次	地 球	'90. 7. 23～'90. 8. 24	中国内陸部における水収支の観測の打ち合わせ及び機材の設置	中国
久島 繁	応 生	'90. 7. 28～'90. 8. 15	国際シンポジウム出席と植物材料収集	マレーシア インドネシア
石塚 皓造	応 生	'90. 8. 8～'90. 8. 26	除草剤安定化剤に関する国際会議に出席・発表	ハンガリー
佐藤 俊	歴 人	'90. 8. 1～'90. 12. 10	東クシ系遊牧民族の調査研究	ケニア・エチオピア
小出 進	農 工	'90. 8. 23～'90. 9. 5	バリ島水開発に関する調査研究会	インドネシア
河野 博忠	社 工	'90. 8. 22～'90. 9. 4	第30回国際地域科学会ヨーロッパ大会、南欧の交通事情視察	モナコ・トルコ イタリア

氏名	学系	出張期間	渡航目的	出張先
谷村 秀彦	社 工	'90. 8.23~'90. 8.30	観光	台湾
中村 徹	農 林	'90. 9.18~'90.11. 1	「シリアにおける農耕文化の展開」 に関する実地調査	シリア
安田八十五	社 工	'90. 9.30~'90.10.14	システムダイナミックスヨーロッパ 国際会議調査	連合王国・スイス ドイツ・イタリア
田瀬 則雄	地 球	'90. 9. 9~'90. 9.23	熱帯地域の水文特性と灌漑の自然環 境への影響に関する調査	インドネシア
黒川 洸	社 工	'90. 9.21~'90. 9.27	学会出席	アイルランド
		'90.10.27~'90.11. 4	都市調査	アメリカ・カナダ
佐藤 洋平	社 工	'90.10.25~'90.11.23	地域資源管理に関する共同研究	オランダ イギリス
吉川 博也	社 工	'90.10.26~'90.10.31	フォーラム「東アジア経済国の変貌 と地域産業政策」に出席	韓国
久島 繁	応 生	'90.11. 3~'90.11.17	熱帯環境樹種の大量迅速育種育苗	タイ・マレーシア
石見 利勝	社 工	'90.11.29~'90.12. 8	発展途上国における住宅政策住宅金 融に関する研究調査	インドネシア
河野 博忠	社 工	'90.11. 7~'90.11.14	国際地域科学学会等に出席	アメリカ
安仁屋政武	地 球	'90.11. 4~'91. 1. 2	パタゴニア地域における近年の水河 変動の地形調査	アルゼンチン チリ
谷村 秀彦	社 工	'90.11.22~'90.11.25	観光	ニュージーランド
松本 栄次	地 球	'90.11.26~'90.12.29	地域資源管理に関する共同研究	タンザニア
石田 東生	社 工	'90.12. 8~'90.12.15	マニラ大都市圏の交通状況視察、セ ミナー出席	フィリピン
前川 孝昭	農 工	'90.12.25~'91. 1.10	豚舎糞尿処理とその再資源化に関す る調査	台湾
河野 博忠	社 工	'91. 2.24~'91. 3. 2	西部地域開発学会第30回年次大会出 席	アメリカ
岩崎 駿介	社 工	'91. 2.22~'91. 3. 6	開発途上国の居住問題の調査研究	ガーナ ナイジェリア
		'91. 3.11~'91. 3.31	〃	タイ・カンボジア ベトナム
甲斐 憲次	地 球	'91. 2.17~'91. 3. 3	砂漠化機構の解明に関する研究の推 進等	中国
石見 利勝	社 工	'91. 3.25~'91. 4.10	都市防災セミナー出席及び発展途上 国の都市環境問題の調査	ペルー